

2013年ABAC第1回マニラ会議ニュースリリース【仮訳】

APEC地域のビジネス界のリーダー達は、 2013年、APEC地域の成長と強靱性の強化に取り組む。

APECビジネス諮問委員会（ABAC）のビジネスリーダー達は今週マニラで今年のアジェンダや作業計画の策定に着手した。これは、APEC首脳や閣僚への提言につながり、2013年10月にバリ島で、ABAC委員とAPEC首脳が対話をする際に、地域経済統合を深化させるための課題を特定し方策を論ずるためのものである。マニラは1996年にABACが設立された場所である。

APECビジネス諮問委員会（ABAC）を構成するアジア太平洋のビジネスリーダー達は、本年の第1回目の会議が開催されたマニラに集い、今年のアジェンダの詳細を策定した。ここで合意されたのは、世界経済が多くの短期的・長期的問題に直面する中、地域経済の成長と強靱性の基礎の強化を目指したアジェンダの推進である。「連携と強靱性、そして成長への架け橋」というテーマの下、ABACはAPEC参加国・地域が地域経済統合を深化させ、インフラ開発と持続的発展を促進し、中小零細企業の発展及び起業家精神を育成し、そして金融市場の発展と統合を推進する諸方策を提言にまとめていく。さらにこの会議では17のAPEC諸国・地域の高級実務者とABAC委員が、本年一年のそれぞれの推進事項を披露しあい、年間を通して協力できる分野を特定するべく直接対話を行った。

ABACは、APECによって国境での障壁の除去が進展していることを認める。しかしながら、国境を越えた障壁についてはまだ大いに取組む余地がある。これについて2013年のABAC議長であるインドネシアのウィシュヌ・ワルドハナ氏は次のように述べた、「今後APECのアジェンダが、国境での障壁の除去から、諸制度や、ハード・ソフトの両インフラ、統合の力学などの構築という複雑な問題に更に方向転換していくにつれ私たちは、何事についても大胆で焦点を絞ったアプローチを取っていく必要がある。とどのつまりは私たちのリーダーは、ビジネス界が作り出す、自由で開かれた貿易と投資というポゴール目標がもたらす配当に興味があるのだ」と。

この目的を達成するために、ABACは投資・サービス貿易・インフラ開発に、より重点を置いていく。これらの分野は、APECがこれまで、貿易の自由化・円滑化に向けていたほどには注目してこなかった分野だが、貿易の自由化・円滑化では目覚ましい成功をおさめている。

ABACは2011年2012年とFDI（対外直接投資）の流れを強化する提言を行ってきた。

2013年には成功事例の共有による投資環境の総合的な向上という、より広い視点からソリューションを求める作業計画を策定した。

サービスは全APEC地域におけるGDPの少なくとも50%を占めており、先進諸国では90%を超える国・地域がある。従って、サービス分野の貿易・投資の自由化はABACにとっては常に重要事項であった。ABACは、新しいアプローチの開発や、他のイニシアティブと協調して取組み、提唱していくことも含めて、引き続きサービス分野の新しいAPECのイニシアティブの設立を要求する。地域の膨大なインフラの要求を満たすことは何とか達成しなくてはならない課題であり、ABACは投資への影響、雇用の創出、サプライチェーンの連結性という観点から大きな関心を寄せている。

アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の実現はAPECの最終目標であり続ける。なぜなら、それが自由で開かれた貿易・投資というボゴール目標を達成する最も実行可能な仕組みだからである。ABACは、TPPやRCEPなどのFTAAP実現への様々な方策における進展を認めており、これらの方策が最終的には確実にFTAAPへと向かうよう行動を起こすべきであると提案する。ABACはフィリピンがRCEP交渉に参加しており、TPP交渉にも参加できるよう取組んでいることを歓迎する。

ABACはまた、食料安全保障に関する政策パートナーシップ（PPFS）を通して、APEC食料安全保障システムの更なる発展に取り組んでいく。中小零細企業（SMME）の発展は、多くのAPEC参加国・地域において経済成長の重要要素であることを認識しており、引き続きABACで高い優先度を持って取り組んでいく。今年ABACは、情報、物流、金融における中小零細企業にとっての障壁を克服する解決策に焦点を当てていく。起業の促進と金融へのアクセスを容易にすることに焦点を当てつつ、ビジネスへの女性の参加を増やすこともまた、優先事項である。

ビジネス界のリーダー達はマラカニアン宮殿でベニグノ・アキノ3世大統領と炉辺談話を行い、サービスや中小零細企業やイノベーションを含む地域経済課題について活発に議論した。大統領はABACの活動に謝意を示し、11月の対話に期待をしていると語った。